# 平成30年度

介します(決算額は1万円未満を、割合は小数点以下第2位をこでは、決算の内容を財政の健全度を示す各種指標と併せて紹平成30年度の一般会計など9会計の決算が認定されました。こ 四捨五入しているため、 9月5日から10月4日まで開かれた市議会第3回定例会で、 合計が合わない場合があります)。

その他の依存財源 8億3,601万円 市税 30億7,828万円 県支出金 13.4% 15億8,775万円 繰入金 23億6,220万円 自主財源 国庫支出金 31.4% 10,3% 20億7,938万円 総額 繰越金 6億6,236万円 229億 2.9% 14.4%

6,184万円 33億 970万円 4.8% その他の自主財源 依存財源 11億 688万円 68.69

地方交付税 79億3,929万円

特別会計・企業会計の決算状況

収 入 額

33億2,420万円

2億2,528万円

2億8,128万円

5億8,542万円

6億3,641万円

5億5,675万円

2億5,082万円

9億1,031万円

7億4,265万円

6,663万円

自主財源…市が自主的に収入できる財源

会 計 名

収益的収支

資本的収支

収益的収支

資本的収支

多くなりました。

年度に比べ、自主財源比率が

・3万円(8・6%)となり、前

国民健康保険(事業勘定)

後期高齢者医療

公共下水道事業

浄化槽事業

水道事業

西根病院事業

農業集落排水事業

国民健康保険(診療施設勘定)

依存財源…国や県などから交付される財源

支 出 額

32億6,503万円

1億8,923万円

2億8,079万円

5億4,457万円

6億2,408万円

5億2,730万円

4億2,670万円

8億7,956万円

8億8,891万円

6,042万円

# 財政の健全度を表す指標

※労働費は、割合が 0.1% 未満となるため表記を省略しています。

13.1%

8.1%

総額

223億 3,387万円

5.8%

15.8%

14.4%

20.6%

●経常収支比率 人件費や扶助費、公債費の義務的経 費などに充てた一般財源の額を、一般財源の総額で割っ たものです。数値が低いほど財政運営に弾力性があり、 政策的に使えるお金が多くあることを示しています。

**②財政力指数** 市税などの基準財政収入額を基準財政 需要額で割って得た数値の過去3カ年の平均値です。 数値が高いほど財源に余裕があることを示しています。

- **3実質公債費比率** 地方債の償還金などを標準財政規 模で割って得た数値の過去3カ年の平均値です。本市 は前年度より1.5%多い14.2%です。
- ○将来負担比率 現在抱えている負債の大きさを標準 財政規模で割ったものです。本市は前年度より18.7% 多い27.3%です。
- ❷資金不足比率 下水道など公営企業会計の資金不足 を事業の規模と比較したものです。本市は資金不足の 会計はありません。

# ※標準財政規模とは

公債費 29億3,228万円

災害復旧費 6,055万円 (0.3%)

12億9,774万円

消防費 13億3,372万円

19億7,875万円

商工費 14億 374万円

農林水産業費 18億1,359万円

教育費

土木費

市が標準的な状態で通常収入されると見込まれる経 常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入などに 普通交付税を加算した額となります。財政の指標とな る3から5までの比率を計算するための分母となる数 字です。

4%)は、 前年度に比べ15億680万円(88・2 設を延命化するための工事があり、 どを行いました。 ティバスの運行、旧松尾総合支所の解 ティセンター 588万円(15・8%)で、 した。 ス、生活保護などのために使われま援、障がい者や言慚者のおみてもれまし 体、将来に備えて基金への積み立てな 衛生費の32億1602万円(14 次に多いのが、総務費の35億2 清掃センターのごみ焼却施 の指定管理やコミュニ コミュニ

議会費

総務費

民生費

衛生費 32億1,602万円

35億2,588万円

45億9,426万円

1億7,716万円 (0.8%)

していきます め、今後も効率的な行財政運営を目指 (☆・内線1205)まで

詳しくは、市役所企画財政課財政係

市は、より一層の経費削減などに努

湾)増加しました。

億4078万円となりました。 年度より11億8572万円減少し、 億5414万円となり、基金残高は前 より4億4487万円増加し、 29でした。また、地方債残高は前年度 9%、財政力指数は前年度と同じ0・ は、前年度より2・3%上昇し、 財政の弾力性を示す経常収支比率 1 7 8 94 95

9426万円(20 ・6%)で、子育て支 民生費の45億

ごみ焼却施設などを整備 衛生費が88 2 ぱの 増

の割合を占めたのは、 一般会計の歳出(支出)で一番多く

自主財源は1 地方交付税は2・ 3 次上昇 8 霄滅

億970万円(14・4%、 円(対前年度比2・8㍍)少なくなっ 方交付税の79億3929万円(34 7828万円(13・4%、 41・2が増)で、 ています。次に多いのが、 万円(31・4%)で、依存財源が157 6%)で、 一番多くの割合を占めたのは、 歳入のうち、自主財源は72億972 30年度の一般会計の歳入(収入)で 1 汚滅)でした。 前年度より2億3260万 3番目が市税の30億 対前年度比 対前年度比 市債の33 地